

編 修 趣 意 書
(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
102-304	高等学校	商業科	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234 TAC	商業703	ビジネス基礎		

1. 編修の基本方針

- ・社会の変化に積極的に向き合い、他者と協働して課題を解決したり、さまざまな情報を見極めたり、新たな価値につなげていくことなどが求められる現代の社会において、知識や技能を理解するだけでなく、それを踏まえてこれらを使いこなし、どのような社会を築くかという視野に立つことができる、豊かな人間性と創造性を備えた職業人としての資質・能力を培うことができることをめざした。
- ・編修に際しては、教育基本法第 1 条に定める人格の完成と、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えられるよう、本文をはじめ図版などの教材を作成した。また、各単元の題材には、教育基本法第 2 条に定める教育の各目標を、他の科目との連携・調和をとりつつ、この教科書を通じて無理なく達成できるよう心掛けた。
- ・さらに、習得した知識・技能を活用して、課題を主体的に考察し、実践することができるように各章に「TRY」を適宜設け、課題の発見から、計画の立案、計画の実施、振り返りといった、一連のプロセスを示し、そのなかで必要なスキルを身に付けられるよう資料を充実させた。

2. 对照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
口絵①～③	都道府県名を付した日本地図とともに、地域ブランドや、日本のものづくりを扱うことで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	口絵①～③
第1章 商業の学習とビジネス	- 産業構造の変化や情報化、グローバル化、少子高齢化など、現代社会の特質を取り上げることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。 - キャリアや資格について取り上げ、また社会で活躍する人のインタビューを載せることで、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。	28～33ページ 14～19ページ

	日本の伝統的な計算用具であるそろばんの歴史を取り上げることで伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第5号）。	147ページ
第5章 企業の活動	- 企業のしくみや、マーケティング、資金調達、税、雇用など関する基礎的な事項・概念を取り上げることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。 - 企業を中心としたさまざまなビジネスの事例や、雇用についての企業の取り組み、労働基準法の基本的な考え方について扱うことで、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。 - 企業の福利厚生や、労働基準法で掲げられている女性の保護規定などを取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	166～209ページ 175, 177, 178, 180～181, 188, 189, 209ページなど 202～209ページ
第6章 身近な地域のビジネス	- 地域が抱える課題を考えるための多面的な観点を取り上げることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うことができるよう配慮した（第1号）。 - 社会で活躍する人のインタビューを載せることで、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。 - 自分と異なる他者の視点へ考える視座を取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した（第3号）。	212～223ページ 222～223ページ 216～217ページ
口絵④～⑥	手形や小切手などの帳票、面接や小論文のやり方を示すことで、将来の職業生活につながるよう工夫し、勤労を重んずる態度を養うことができるよう配慮した（第2号）。	口絵⑤⑥

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・再生紙と植物油インキを使用し，環境に配慮した。
- ・全体において，ビジネスの果たす役割とその担い手について具体的事例を踏まえて取り上げることで，学校教育法第 51 条に定める，社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき，個性に応じて将来の進路を決定させ，一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得できるよう配慮した。
- ・第 1 章～第 5 章の各節末に「TRY」として調べたり考えたりする活動を，第 6 章では地域が抱えるビジネスに関する課題を考える視点を提示することで，生徒が課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習に取り組み，学習内容を深めることができるよう配慮した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
102-304	高等学校	商業科	ビジネス基礎	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
234 TAC	商業703	ビジネス基礎		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- ・第1章では、商業を学ぶ重要性和学習への動機付けを図るという位置づけに鑑み、商業科のほかの科目、さまざまな資格を紹介し、商業を学ぶことやビジネスの意義や課題について生徒自らが考えられるよう内容を充実させた。
- ・第2章～第5章では、商業教育全般の導入として基礎的な内容を扱うとともに、商業の見方・考え方を養う上で必要な内容を体系的・系統的に理解できるようにした。また、主体的・対話的で深い学びができるよう、文中にさまざまな学習課題を設けたり、各章の最後にも調べたり考えたりする課題を設け、分析や考察ができるよう、内容を充実させた。
- ・第6章では、ビジネスに関する課題を発見し、創造的に解決する力を養うために、身近な地域の課題についての論点を提示した。さらに、課題の発見から、計画の立案、計画の実施、振り返りといった、一連のプロセスを示し、そのなかで必要なスキルを身に付けられるよう内容を充実させた。
- ・各単元の冒頭では、リード文とともにその単元に関連する写真や図版、イラストなどを提示することで、効果的に学習の目的を意識できるようにした。
- ・具体的な事例を通じた学習ができるための「ケーススタディ」を各章に設け、時事問題や実生活に即してビジネスを考えられるよう心掛けた。
- ・専門的な概念やしくみを掘り下げる「ナビゲーション」を各章に設け、生徒が関心をもつことができるよう心掛けた。
- ・生徒の進路選択につながるよう、また学習を深められるよう、社会で活躍する人にインタビューした記事「わたしとビジネス」を各章に設けた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 商業の学習とビジネス 第1節 商業の学習 第2節 ビジネスの役割と動向	内容(1) ア 内容(1) イ, ウ	8～19ページ 20～33ページ	6
第2章 ビジネスとコミュニケーション 第1節 コミュニケーションとビジネスマナー 第2節 情報の入手と活用	内容(2) ア, イ 内容(2) ウ	36～55ページ 56～69ページ	10
第3章 経済と流通 第1節 経済のしくみと考え方 第2節 流通の役割 第3節 流通を支える活動	内容(3) ア 内容(3) イ 内容(3) ウ	72～79ページ 80～105ページ 106～123ページ	20

第4章 ビジネスと売買取引 第1節 売買取引と決済 第2節 ビジネス計算の方法	内容（4）ア 内容（4）イ	126～141ページ 142～163ページ	14
第5章 企業の活動 第1節 企業の形態と組織 第2節 さまざまな企業の活動	内容（5）ア 内容（5）イ，ウ，エ， オ，カ	166～181ページ 182～209ページ	12
第6章 身近な地域のビジネス 第1節 身近な地域の課題 第2節 身近な地域のビジネスの動向	内容（6）ア 内容（6）イ	212～217ページ 218～227ページ	8
		計	70